

ひらいずみ 議会だより

第156号

平成29年8月1日

定例会6月会議



大家族、集合!

「入峰」の屋号の千葉家（長島、滝ノ沢）は八雲神社の傍らにある4世代7人が暮らす家族です。15代続く千葉家は、神社の御遷座より前に、入峰の地域から現在の場所に移転して4代目になりました。

目次

- 定例会6月会議 ②頁～
- 一般質問 ④頁～
- 報告／政務活動費 ⑬頁～
- 私もひとこと／あとがき ⑭頁～

私も
ひらいずみ

ふるさと平泉会
副会長
鈴木 喜佐人
東京都府中市



「平泉ふるさと大使」 の設置を提言

私は、「ふるさと平泉会」の会員です。この会は設立25周年を迎え、去る6月18日、浅草ビューホテルで第25回通常総会が約100名の出席で、盛大に開催されました。この総会にご来賓として出席された平泉町議会より、本欄への寄稿を依頼されました。と、いう訳でその関連からの「ひとこと」を申し述べさせていただきます。

「平泉ふるさと大使」の設置で「観光大使」ではありません。平泉町の観光PRを主題とするだけではなく、ふるさと平泉の魅力を広く宣伝し、平泉特産品の普及を図ることによって、文化、産業、観光などの振興に資するために「平泉ふるさと大使」の設置を提言するものです。

従って大使の活動は、

- ①平泉の自然環境、歴史、文化、産業、観光等の宣伝
- ②平泉が実施する各種行事への協力および開発商品の購入やふるさと納税
- ③平泉に有益な情報の収集および提供と助言などをします。

次に委嘱は、町長が次の各号のいずれかに該当する者のうちから適当と認める者を大使に委嘱します。

- ①平泉の出身者
- ②平泉にゆかりのある者
- ③平泉の発展に寄与する者
- ④町長が必要と認める者

任期は3年、ただし再任を妨げない。報酬は支給しない。名刺は自費とする。

その他、町長はその大使に対しその活動が円滑に行われるよう各種事業等に関する情報を提供する。庶務は役場のしかるべく部署にて処理します。

以上、平泉ふるさと大使の設置要綱案を述べました。すでに実施している自治体の例を参照しました。ぜひご検討いただきたいと思います。わがふるさとをこよなく愛し、応援する平泉出身者の意気込みをご理解いただければ幸いです。

自慢の大家族

大正15年生まれのおじいさん（文雄さん）は、若くして父親を亡くし、電力会社で電工として働き一家を支えてきました。岩手県内各地を泊りがけで働いた苦労話を伺いました。息子さんが昭和43年から自宅敷地内で起こした会社は、平成5年から平泉地内に移転し、孫息子が受け継ぎ現在は一家で会社を営んでいます。ひ孫の長女はすでに巣立ち、工業高校に通う長男優樹君は頼もしい後継者でしょうか。



あとがき

「鉄は熱いうちに打て」という何事も早めに対応するのが望ましい事を意味することわざがあります。広報編集特別委員会は定例会の熱の冷めやらぬ翌週には、議会広報の打ち合わせ会議を開き、発行の準備に入ります。ひと月以上の期間をかけ、委員同士が意見を出し合い、議場での質問質疑を推敲し、少しでもわかりやすい、伝わりやすい、報づくりに努めています。議会だよりをさらにより良いものとするため、皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。

氷室裕史



編集スタッフ

委員長	升沢 博子
副委員長	氷室 裕史
委員	阿部 圭二
委員	寺崎 敏子

議会だよりは再生紙を使用しています

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

定例会6月会議

定例会6月会議は6月8日から15日まで8日間の会議期間で開かれました。

報告案件1件、条例案件1件、事件案件2件、補正予算案件3件、人事案件8件を審議し、全て原案どおり可決しました。
一般質問には8人の議員が登壇し、様々な町政課題について町の考えをいただきました。

報告案件

●平成28年度一般会計繰越明許費の報告

(仮称)平泉スマートインターチェンジ事業や臨時福祉給付金事業等を平成28年度から平成29年度に事業を繰り越したものの。
▽件数 4件
▽繰越金額 1262万3千円

条例案件

●復興産業集積区域における固定資産税の課税

免除に関する条例の一部改正

▽東日本大震災復興特別区域法の一部改正により、免除期間を4年延長するもの。

事件案件

●損害賠償の額の決定に関する議決を求めることについて

▽職員運転の公用車の事故により、相手方に賠償額の決定を行うもの。

●指定管理者の指定に関する議決を求めること

補正予算案件

●平成29年度一般会計の補正予算は、歳入、歳出それぞれ5227万4千円を減額し、総額47億4872万6千円としました。主な内容は次のとおりです。

ついて
▽宿泊交流体験施設「浄土の館」の管理運営を行う者に「合同会社ひらいずむ」に指定を議決したものの。管理期間は平成34年6月30日までの5年間。

人事案件

●教育委員会の委員の任命に同意を求めることについて
(同意全員)

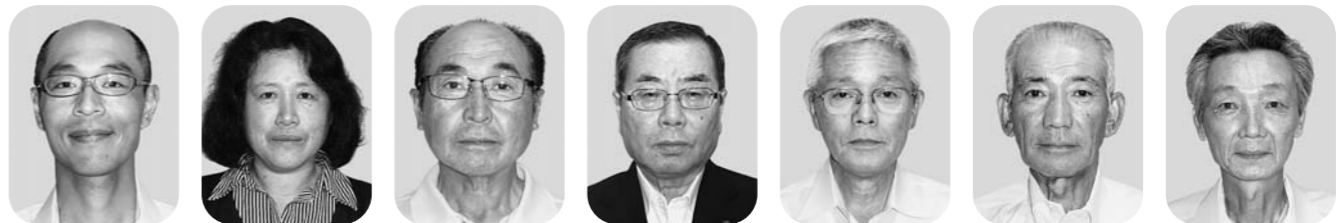


みうら 英子 さん
(平泉字志羅山)

任期は7月1日から9月30日までです。

●農業委員会の委員の任命に同意を求めることについて

▽農業委員会等に関する法律の改正により、新たに議会において同意することとなったもので、7人の農業委員の候補者に対し、採決の結果、すべての議員が同意しました。
任期は7月20日から平成32年7月19日までの3年です。



あおき けい 慶 さん (平泉字鈴沢) | ちばみちえ 三智枝 さん (平泉字更の上) | すずき まさあき 鈴木 正昭 さん (平泉字柳御所) | ちばりきお 千葉 力男 さん (平泉字志羅山) | ちばけんいち 千葉 賢一 さん (平泉字八日講) | いしかわぶんしろう 石川文士良 さん (長島字生江田) | こまがた かずのり 駒形 和宣 さん (長島字二反田)

定例会4月会議

4月14日に定例会4月会議が開かれ報告案件5件、議員発議1件を審議しました。

専決処分の報告

●町税条例の一部改正について

▽地方税法等の一部改正により、相手方に対し賠償額の決定によるもの。

●損害賠償の額の決定について(2件)

▽職員運転の公用車の事故により、相手方に対し賠償額の決定によるもの。

●平成28年度一般会計補正予算

▽歳入、歳出それぞれ377万1千円を減額したものの。
●平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算

▽歳入、歳出それぞれ43万8千円を追加したものの。

議員発議

●共謀罪(テロ等準備罪)の新設に反対し、法制



宿泊交流体験施設「浄土の館」大広間

定の中止を求める意見書の提出について(賛成多数)

▽3月会議において採択された請願について、議会の意見書をまとめたもの。
また、意見書は直ちに国等の関係機関に提出されました。

定例会7月会議

7月10日に定例会7月会議が開かれ、提出された2件の議案は原案どおり可決されました。

●平成29年度一般会計補正予算

▽歳入、歳出それぞれ1千7百1万円を追加したものの。内容は平泉・文化と芸術の拠点創造事業として共催者からの負担金を求め会場費に充てるもの。

●町道祇園線太田川橋梁上部工の請負契約の締結に関する議決を求めることについて

▽朝田建設(株)と請負契約を締結しようとするもの。契約金額 2億4千7百32万円。

6月会議の議案質疑

●氷室裕史議員 浄土の館への問い合わせと今後のPRの方策は。

まちづくり推進課長 今現在、問い合わせについては、役場ホームページから見られる程度である。件数は合宿等の問い合わせが4件ほどきている。PRに関しては、ホームページの開設に向けて手続きを進めている。また、PR用のチラシも現在制作中である。

●高橋伸二議員 浄土の館の指定

まちづくり推進課長 指定管理者である「合同会社ひらいずむ」で提出した収支計画書であるが、それについても経営指南の中で現実的な数字に修正しているところである。町としても経営をうまくまわせるような形で指導していきたいと考えている。

6月会議の補正予算質疑

●寺崎敏子議員 12区に助成する宝くじ助成金の用途は。また、他の地区はどうなっているか。

まちづくり推進課長 百歳いきいき体操等のメディアを使用する機器に対する補助である。他の行政区の現状に関しては把握していない。

●佐々木一治議員 浄土の館の1年間の宿泊見込み数はどの程度か。

まちづくり推進課長 稼働率を30%と考えている。町の目標としては高めと考えているが、実現できるような施策をしていきたい。

6月会議の補正予算質疑

●三枚山光裕議員 無量光院の調査事業に際し、教育国庫補助が700万円ほど減額されているがその内容と影響は。

文化遺産センター 所長 減額に関しては、国の補助上限額にかかった事が要因のひとつである。また、昨年あった熊本地震で文化財の被害がかなりあり、そちらの復興のほうへ予算がまわった。このことにより、無量光院の復元整備の進捗状況に影響が出ると考えている。

問 平泉の婚姻数は、この2年間で急激に減少した。結婚支援策

町長 婚活事業として、県と市町村が共同出資で行う結婚サポートセンターによる相手探しを希望している。費用も助成している。

町長 現物給付は現在考えていないが、現在の状況が続くのであれば検討しなければならぬ。まずは県の結婚支援センターへの登録を促進したい。

町長 防災行政無線と連動させ、町民への情報伝達体制を整えている。毎年全国で行

町長 出生数の減少に歯止めをかけるために、結婚・出産の機運を高める施策が重要と考えるが。

町長 Jアラートの周知と運用のあり方は、



真筈光幸 議員

Q 結婚・出産の機運を高める施策は
A 結婚サポートセンターに登録

問 結婚の障害として、結婚資金の問題があることとされるが、本町に定住することを条件とした結婚資金の無利子貸出も結婚促進施策として有効ではないか。

まちづくり推進課長 現在は考えていない。

Q Jアラートの周知と運用は
A 防災無線と連動させ情報伝達を行う

問 Jアラートの周知と運用のあり方は、



役場庁舎に設置されているJアラート（全国瞬時警報システム）

裸眼視力1.0未満の子どもが急増しています。TVゲーム・スマホなど、ものを近くで見る習慣が身についた事が指摘されています。幼児も例外なく低下しています。注意してください!!

議員のひとりごと

町長 避難訓練は、消防平泉分署による防災セミナーを活用し、各地区の自主防災会の開催を促進したい。情報伝達は防災無線や広報

問 国民保護サイレンが実際にどんな音が住民に周知する必要がある。過日、宮城県大崎市で起きたJアラート

・県道三日町瀬原線・中尊寺交差点の無電柱化計画の概要と進捗について

問 住民の命を守るための訓練や、情報の伝達方法は、

問 学校内放送設備とは連動するのかわれる一斉訓練に参加し、機器の操作確認も行っている。

による北朝鮮のミサイルに対するサイレンが誤って市中に流され市民がパニックになった事例がないか。音の訓練も必要ではないか。

総務課長 警報音の住民への周知については、今後の検討課題とした。



ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。6月会議では8人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

- **真筈 光幸 議員** … P5
 - ① 人口減少対策について
 - ② 防災対策について
 - ③ 子どもの視力検査について
 - ④ 町道衣関線および中尊寺交差点の無電柱化の進捗状況について
- **阿部 圭二 議員** … P9
 - ① 住宅対策について
 - ② 空き家対策について
 - ③ 国保税について
 - ④ 公共交通について
- **三枚山光裕 議員** … P10
 - ① 住宅等の改修への支援制度について
 - ② 「道の駅平泉」と農業振興について
- **佐々木雄一 議員** … P11
 - ① 公文書管理条例について
 - ② 平泉町例規集の運用について
- **高橋 伸二 議員** … P12
 - ① 平泉町社会福祉協議会の現状と課題
 - ② 後期基本計画初年度の取り組み
- **升沢 博子 議員** … P6
 - ① 平泉町の男女共同参画施策について
 - ② 道の駅平泉の開業について
- **高橋 拓生 議員** … P7
 - ① リフォーム事業について
 - ② 観光振興について
 - ③ 通学の安全について
- **佐々木一治 議員** … P8
 - ① 東北本線が堤防の下を通っている太田川の堤防について
 - ② 定住化対策について
 - ③ 社会教育施設について
 - ④ 町への侵入道路について

オンライン陳情書の提出方法

町民の皆さんの意見や要望などを町政に反映させる方法として、請願・陳情の制度があります。請願書や陳情書の作成方法や提出する場合の注意事項は次のとおりです。

① 請願・陳情の内容は、要旨や理由を簡単にわかりやすく記載し、提出年月日、提出者の住所と氏名を書いて押印してください。

② 請願書は、1人以上の紹介議員が必要で、表紙に署名又は記名押印をしてください。

③ 紹介議員がいなく、かつ、陳情書として提出してください。

④ 道路や建築物などの場合は、簡単な地図や略図などの図面を添付してください。

⑤ 請願書や陳情書は、定例会議で審査されますので、定例会議前の早めの提出をお願いします。

・用紙サイズはA4です。

〈様式〉	
<p>(内容)</p> <p>年月日</p> <p>平泉町議会 議員 ○○○○ 様</p> <p>請願(陳情)者の住所 氏名 ○○○○ 印</p> <p>〇〇についての請願(陳情)(要旨) ……………</p> <p>(理由) ……………</p>	<p>(表紙)</p> <p>請願(陳情)書</p> <p>紹介議員 氏名 ○○○○ 印 (陳情の場合は紹介議員不要)</p>

Q 職員のワーク・ライフ・バランスの実現は

A 職場の環境づくりに努めたい



升沢 博子 議員

職場や地域活動の場で男性が優遇されていると感じている。調査結果から今後も男女共同参画意識の醸成を図る啓発活動を行っていく必要があると感じている。

問 平成17年に策定した平泉町男女共同参画プランは10年を経過したが、その進捗状況は。

町長 家庭、地域、職場で一定の理解は進んでいると認識している。また今後は防災における女性の参画や職場における働き方改革などの啓発を図っていきたい。

問 当町職員における女性管理職が減少傾向にあるが能力開発に取り組み考えは。

町長 平成28年に「平泉町特定事業主行動計画」を策定し、女性職員の活躍推進を進めている。具体的には管理職に登用するための研修支援など各種制度の周知と充実を図っていく。

町長 女性の活躍を推進するには男性及び職場全体の理解と協力が不可欠である。今までの男性職員の育児休暇取得はないが、育児は男性も同様に担うべきものであり、取得できる環境

問 女性が働き続けるには出産、育児

女性職員の活躍推進を進めている。具体的には管理職に登用するための研修支援など各種制度の周知と充実を図っていく。

問 本年2月に行った男女共同参画意識調査の結果は。



開業から3ヶ月、産直には地物野菜も増えてきました

Q 「道の駅平泉」への支援策は

A 指定管理者との協議、懇談を進める

問 町としてのバツクアップ体制は。

町長 基本協定書に基づき、サービス向上が図られ地域振興が推進されるよう相互に協力、可能な範囲で支援していく。

問 町と株式会社「浄土の郷」との指定管理契約とは。

まちづくり推進課長 「浄土の郷」は公募による選定ではなく町が育成して指定管理を結んだ会社であり、建物の構造やシステムについてはすべて承知している。建物の不具合が生じた場合は協議、懇談を密にして、調整を図ることになる。

問 事業運営のモニタリングとサービス水準の低下にならないような指導監督は。

町長 年間の事業報告書により運営状況の確認を行う。また、定期的に現場に向き状況を確認するほか「提言箱」を設け、利用者の声を聞き地域に親しまれ魅力的な道の駅となるよう株式会社「浄土の郷」には期待しているところである。

Q 新たな住宅リフォーム事業の施策は

A 少子高齢化、空き家対策等を踏まえる



高橋 拓生 議員

えるが見解を伺う。

町長 少子高齢化対策、景観の向上、空き家対策計画を策定し、町の施策に基づく住宅改善への助成を検討する。また、町民の住環境の向上と地域経済の活性化を図る目的としても、今後その方向性を定めていきたい。

Q 通学安全対策の施策は

A 通学路交通安全プログラムで対応を

問 平泉町通学安全対策について伺う。

教育長 平泉町通学路安全推進連絡協議会を組織し、平泉町通学路交通安全プログラム

を策定し安全確保の充実、通学路の安全性の向上を図っている。また、防犯の観点として平泉町学校警察連絡協議会を組織し、学校と警察の連携のもとに、児童生徒の非行防止と健全育成を図っている。

問 小学生、中学生のバス通学の状況は。

教育次長 小学校スクールバスは、達谷方面4区、5区、6区の一部25人、戸河内方面3区8人、登校各1便、下校は各2便ずつ運行している。また、平泉地区の1区、8区、9区の小学校1年生から3年生の児童26名、長島地区14区の1年生から3年生までの児童12名に遠距離児童通学定期券を支給している。中学生は12月から3月までの冬期間のみの対応で、達谷方面5人、戸河内方面7人が平泉小児童と同路線同時刻に乗車。長島地区は、平泉中学校長島地区保護者会に対して、



防犯灯の早期設置が望まれる中学校線

問 長島地区の中学生徒に冬期間スクールバスの運行を。

教育次長 平泉中学校長島地区保護者会に対して、冬季バス運行事業補助で対応してきた経緯があるが、今後総合的な交通体系の中で検討していく。

問 中学校生徒の新しい街灯が少ない」とあった。

問 県道沿いの歩道の雑草が通学の妨げになっているが、その対処は。

建設水道課長 道路管理者である、県の土木センターに早急に対応を依頼する。

その他質問事項
・観光振興について

今後、地産地消の体制を整え町内循環させ経済効果につなげるべきと考える。

議員のひとりごと

問 空き家対策協議会の設立、対策計

町長 観光商工課、商工会への問い合わせは3件、現在具体的にリフォーム内容を検討している状況である。今後も平泉商工会と連携しながら本制度の周知に努め効果的な事業の活用を促していきたい。

問 世界遺産平泉に即した住宅改善リフォーム（景観条例、空き家対策等）が必要と考

教育長 平泉町通学路安全推進連絡協議会を組織し、平泉町通学路交通安全プログラム

Q 堤防を横断する東北本線の現状は

A 機能は失われぬ構造である



佐々木一治 議員

問 本町の太田川の堤防は東北本線が横断しており、過去にはアイオン、カスリンの大水害があった。現状の堤防で水害から守られるか。また、周辺には無量光院跡、伽羅御所跡、白山社などの遺跡が点在しており東北本線を移設、または高架にするよう国とJRに要望すべきでは。

問 内水に対する強い制排水機場設置の予定は。

町長 太田川を横断する東北本線は

町長 鈴沢川、矢の尻川は配備する予定がある。施設完成前に出水した場合には、排水ポンプの派遣を要請している。



太田川堤防の下を東北本線が横断

Q 定住化対策の対応は

A 分譲住宅で対応する

問 本町は人口が減少しており、所得

の向上、定住化、企業誘致をどう図るのか。

町長 人口減少は喫緊の課題である。定住化対策として泉屋地区、上野台団地の4号棟予定地に宅地分譲する予定である。また今年度は坂下地区の宅地分譲を進め、企業誘致も進めていく。

問 バイパスから町への進入道路として新たに作られた中学校線をどう活用するのか。

町長 将来の※パークアンドライドを見据えて、移動環境、観光迂回路、通学路として整備したものである。

問 産業の発展は道路からと言われる。佐野から森下までの県道にバイパスへ直接つながる道路が必要では。

建設水道課長 あれば便利と考えるが、ルートの選定、事業費、史跡の課題が多く整備は難しいと思う。

町長 公民館、図書館、体育館、図書館を解体し、社会教育施設として、体育館、公民館、図書館建設を計画しているが、人口が減少している中で既存の施設で対応できるのではないか。

問 建設計画に民間企業導入の考えは。

まちづくり推進課長 町単独にプラスし、スピードアップを図る。

※パークアンドライド
自家用車で最寄りの駅またはバス停まで行き、車を駐車させた後、バスや鉄道などの公共交通機関を利用して目的地に向かうシステムである。

Q 住宅再建事業の基本的な考え方は

A 事業実施の有無は改修需要を判断材料に



阿部圭二 議員

問 東日本大震災に係る住宅再建事業の需要見直しは。

町長 平成29年度は9件の申し込みがあり、需要はまだあると考える。しかし、県における生活再建住宅支援事業は、平成30年度までとされており、県において代替事業が創設されなければ本町でも終了したと考えている。

問 新たな住宅再建事業の検討は。

町長 少子高齢化対策、景観の向上など、町の施策に基づく住宅改善への助成を検討していきたいと考える。具体的には本年度中に空き家等対策協議会を立ち上げ、その中で空き家に対する補助のあり方を検討しつつ、その検討結果を踏まえて住宅改善の助成も検討していきたいと考える。

問 二世帯住宅や納屋等の下水道事業の普及が遅れているが、再建助成と一体化した施策は可能か。

町長 二世帯住宅や納屋に対する補助は、個人財産の形成に公費を投入することになるため、慎重な判断が必要だと考える。

問 二世帯住宅や納屋等の下水道事業の普及が遅れているが、再建助成と一体化した施策は可能か。

建設水道課長 空き家等対策協議会において、所有者に対する管理促進に関する事項、特定空き家に対する事項等を定める「平泉町空き家等対策計画」を策定し、基本的な方針を定める予

Q 公共交通の今後の活用方針は

A スマートインター等の開発に合わせ検討する

問 一部地域にのるんバスがない現状をどう考えるか。

まちづくり推進課長 民間の事業者が行っているものではあるが、どのような形が一番望ましいかを見据えながら、遠隔地にも配慮した形を考えていきたい。

問 より町民が利用できる形をどう考えるか。

まちづくり推進課長 現在、のるんバスは道の駅にも乗り入れており、町民からの需要も増えていると聞いている。特定のスーパーに乗り入れる形も可能と考えられるため、町全体の事を勘案しながら、今後、検討していきたいと考える。



利用しやすい「るんるんバス」をめざして

定である。しかし、空き屋も所有権があるため、所有者の意向が最優先されるべきであると考ええる。解体費用の助成は、現段階では考えていないが、対策会議の中で検討課題の一つになるかと考えられる。

定である。しかし、空き屋も所有権があるため、所有者の意向が最優先されるべきであると考ええる。解体費用の助成は、現段階では考えていないが、対策会議の中で検討課題の一つになるかと考えられる。

定である。しかし、空き屋も所有権があるため、所有者の意向が最優先されるべきであると考ええる。解体費用の助成は、現段階では考えていないが、対策会議の中で検討課題の一つになるかと考えられる。

定である。しかし、空き屋も所有権があるため、所有者の意向が最優先されるべきであると考ええる。解体費用の助成は、現段階では考えていないが、対策会議の中で検討課題の一つになるかと考えられる。

いろいろな事業をやっている町です。町民参加型になるには何が必要か。やる気スイッチはどこでしょうか。

議員のひとりごと

Q 新たな住宅政策の議論は

A 住宅改修、改善への助成の検討を



三枚山光裕 議員

問 昨年3月で廃止になった「平泉町住宅リフォーム事業助成金」の総合的な評価、成果をどのように考えているのか。

町長 新たな住宅政策の事業の議論は、これまですすんでいるのか。

町長 住宅リフォームに代わる少子高齢化対策、景観の向上など、町の施策に基づく住宅改修、改善への助成を検討したいと考えている。加えて本年中に、空き家等対策協議会を立ち上げる。また他市町村の補助制度も事例研究を行っている。

町長 7年間で、233件で事業費(工事額)は4億753万7千円である。補助金は4千147万7千円の実績である。町民の居住環境及び、町内の商工業の振興に大いに寄与した。

町長 来場者からさまざまな感想や意見を頂戴している。利用者の声を聴き、サービスマスターの低下のないよう、道の駅設置者として指導、監督していく。

町長 設置目的である農業を中心とした地域活性化の一助と

問 道の駅に対しての課題と、町としての支援をどのように考えているか。

Q 道の駅のかかわりで農業振興の対策は

A 種苗費の補助や出荷の仕組み検討も

なるように対応する。また、道の駅は農産物の販路拡大につながる施設であり、出荷農産物の数量確保及び少量多品目の品ぞろえ、町内出荷者の積極的な取り組みをいかに促すがが課題と考えている。

問 町内産の野菜を費、栽培管理用機器購入費に対する補助や、ピニールハウス整備事業への補助を継続的に考えているか。

課長 現在は農業者への集荷までは考えていないが、出荷者のなかから意見等があれば検討項目になると考える。

問 出荷者の町内外の内訳、町内野菜の割合はどうなっているのか。

課長 今、野菜の半分は市場からきている。町内は20%から30%で残りが、町外となっている。



道の駅を町内農産物の販路拡大への起点に

国民の疑問にも野党の質問にも答えない政府。平泉町と平泉町議会は、しっかり議論し新たな住宅政策の実施を町長が答弁。「安倍首相は見習うべき」では、そんな6月議会。

議員のひとりごと

Q 公文書管理はどんなになっている

A 図書館計画の中で対応を検討する



佐々木雄一 議員

問 全国で「公文書館」の設置、や「公文書管理条例」が出来ている。当町で進んでいないのはなぜか。

町長 公文書管理法は、努力義務と定めている。平泉町役場文書取扱規

定により、收受、処理、保管、廃棄、保存など基本的事項を定め、適正管理を行っている。

問 公文書管理法は、努力義務と定めているが、一律に制定すると文書管理システム、文書量など自治体の規模や管理能力に差があり、困難であるので努力義務とした様だが。

町長 平泉町役場文書取扱規定及び平泉町情報公開条例を必要に応じて改善し対応したい。

町長 平泉町役場文書取扱規定及び平泉町情報公開条例を必要に応じて改善し対応したい。

問 公文書を歴史的な文書と位置付け、国民に利用請求権が発生している。情報公開条例のように請求されれば開示しなければならぬはずだが。

町長 県や近隣市町村の制定状況及び実効性等を踏まえ、今後の研究課題としたい。

問 東北では岩手県のみが動きがない。市町村もしかり、歴史・文化の平泉町であり、今後計画されている公民館、図書館に「公文書館」的なものを併設してはどうか。

町長 歴史的、文化的価値を有する知的財産である公文書を、迅速に容易に提供できる点では良好だが、全国的にも広く普及していない状況であり、今後の動向を踏まえて検討したい。

問 今でも図書館の閉架図書も一杯で処分している。文書保管庫も満杯であれば、検討する時期ではないか。

総務課長 保管場所は不足であり、新たな図書館計画のなかで対応を検討したい。

問 現在の文書保管状況はどうなっているか。

Q 例規集を集約してはどうか

A 冊数を減らすよう経費削減を検討する

問 例規集(条例等)を集約した冊子とインターネットを利用する例規システムが併用しているが、経費削減が可能ではないか。

総務課長 年間維持費は595万円。



例規集を減らせば追録代等が下がるが、会議でインターネットの無い場合や議場での使用、法規審査委員会が複数の条例にわたる場合に例規集が必要である。

問 他の自治体の議場でもタブレットが使用されつつある。必要箇所をプリントアウトできるのだから例規システムに統一すべきである。

副町長 紙ベースの例規集を全く無くす訳にはいかないが、冊数を減らすなど経費削減できるように検討したい。

Q 町社協の課題解決への取り組みは A 法人格が異なり町は言及できない



高橋 伸二 議員

毎年1千万円以上の補助金を出し、行政施策では難しい地域の福祉事業を社協に委ねている。住民の福祉向上のためにも効率的、効果的、且つ適正に補助金が行使される環境整備が必要ではないか。

問 町社協協議会に対する財政支援と社協が抱えている課題をどのように考えているか。

町の住民福祉サービスに
取り組む姿が片りんもない。
今、町社協の事業運営と職員の資質が問われている。事業補助を行って
いる町として如何に対応しているのか。

町長 補助金は高齢者・障害者・子育て支援等福祉サービスを提供する役割を果たしている。町は運営面から支援するため必要な財政援助を行っている。

問 答弁からは、町として社協と両輪

町長 社会福祉法人という別法人が運営する団体である。資質向上とかはその団体で行われるべきであり、町が言及する立場にない。

問 広域行政組合からの指摘・監査を

Q 支援策が十分ではないか
A 相談には真摯に応じる

町長 職員は資質向上については、社協の中で整理されるものと思う。社協と職員の中に課題があることについては係争中であり、答弁は差し控える。

受けるような業務運営を放置すれば地域福祉推進事業が混乱、停滞する。その犠牲は町民に帰す。高い公益性を持つ社協のあるべき姿をどう考えているか。

町長 社協は社会福祉法に規定する原則に沿って事業運営されるものと考えている。社協からの相談には乗っているが町長として「こうしろ」とは言えない。

問 今、社協の職場で複数の職員が心を病んで辞職や休業をしている。職員が悲痛な思いを訴えている。町民の血税が投入されている社協の不正常な職場環境改善に手を差し伸べてきたのか。

町長 相談には乗っているが、公の場で話すことではない、中身は差し控える。

問 早期の健全化無画に謳う福祉事業の充

町長 健全化を図ることは当然であり、相談に対しては真摯に応える。

実・発展は望めない。相談を受けている町として、健全化が必要との認識と疲弊している社協組織に積極的な支援の意思はあるか。

「通告」した私の2番目の質問が、町説明員の不規則発言を受け、議長采配で認められなかった。二元代表制のもとで、町当局から自立できない議会運営では町民の信頼を得られまい。

議員のひとりごと

過去5年間の平泉町社会福祉協議会に対する町からの補助金等推移 (単位:円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
社会福祉活動専門員設置事業補助金	3,318,000	3,400,000	3,560,000	3,650,000	3,760,000
社会福祉推進事業補助金	3,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
社会福祉協議会事務局長設置補助金	576,000	576,000	576,000	1,200,000	1,057,000
福祉活動拠点運営費補助金	540,000	540,000	540,000	540,000	540,000
地域子育て支援拠点事業補助金	4,200,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,050,000
指定訪問介護事業所移転改修補助金		2,000,000			
地域福祉活動推進計画策定事業費補助金	869,000				
配食サービス事業委託料	79,800	154,350	350,700	403,550	613,900
高齢者保健福祉推進特別事業補助金	150,000	150,000	150,000	210,000	210,000
社会福祉法人等による利用者負担軽減事業補助金	0	15,732	68,694	34,213	19,273
障害者等移動支援事業補助金	1,013,550	1,111,000	1,033,450	1,090,250	1,057,850
合計額	13,746,350	15,947,082	14,278,844	15,128,013	15,308,023

会議の報告

議会改革推進会議

委員長 高橋伸二

期日 5月12日、6月26日
内容 議会基本条例の検証について

議案質疑の検証について

世界遺産特別委員会

委員長 佐々木雄一

期日 6月13日
内容 世界文化遺産拡張登録及び世界農業遺産登録並びに国立博物館誘致について

総務教民常任委員会

委員長 升沢博子

期日 5月18日、6月12日、7月12日
内容 子育てしやすい地域づくりについて
安心安全な防災体制について
情報化計画について

期日 3月23日
場所 一関市議会会議場
一般質問では6名が新

第33回一関地区広域行政組合議会報告



未整備路線の現地調査写真は生活道路に係る未整備路線の1つである。住宅地の入り口には「急傾斜地崩壊危険箇所」の看板が設置されていることに注目してほしい。せまい砂利道の改良に留めず、避難路としても防災の観点からも憂慮される。

産業建設常任委員会

委員長 千葉勝男

期日 6月12日

内容

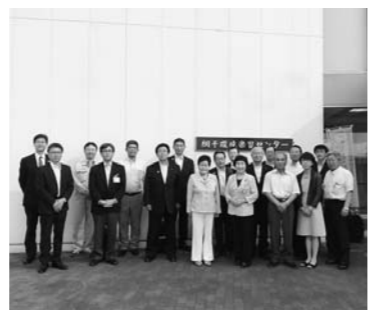
未整備路線の現地調査写真は生活道路に係る未整備路線の1つである。住宅地の入り口には「急傾斜地崩壊危険箇所」の看板が設置されていることに注目してほしい。せまい砂利道の改良に留めず、避難路としても防災の観点からも憂慮される。

一関地区広域行政組合視察研修

期日 6月1日～3日
参加者 組合議員13名
視察先

①兵庫県姫路市 エコパークあぼし(廃棄物処理施設・ガス化溶融型、健康増進施設、環境学習施設)
②山口県防府市 防府市クリーンセンター(廃棄物処理施設・バイオガス化施設併設型)
両施設とも、安全・安定処理と循環型社会形成の拠点となっている。廃

平成28年度政務活動費収支報告



政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、平泉町では平成28年度から交付されています。

議員一人当たり月額5千円、年間で6万円が議員個人に支給されます。各議員の政務活動費の収支報告書は閲覧することができま

平成28年度政務活動費収支状況

議席	氏名	政務活動費補助金額	支出科目							政務活動費支出額合計	政務活動費返還額
			調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費		
1	氷室裕史	55,000	56,800							56,800	0
2	高橋拓生	55,000					24,200		31,935	56,135	0
3	阿部圭二	55,000	35,330						19,754	55,084	0
4	三枚山光裕	55,000	35,888				6,860	89,734		132,482	0
5	真籠光幸	55,000		7,700				8,974	38,208	54,882	118
6	高橋伸二	55,000					36,710	23,710	1,300	61,720	0
7	升沢博子	60,000		52,210			2,830			55,040	4,960
8	佐々木一治	-								-	-
9	佐々木雄一	60,000					25,229			25,229	34,771
10	千葉勝男	-								-	-
11	寺崎敏子	60,000		3,200			7,711	460	540	11,911	48,089
12	佐藤孝悟	60,000								0	60,000
	合計	570,000	128,018	63,110	0	0	103,540	122,878	91,737	509,283	147,938